



令和元年度 第二回 赤羽地区地域円卓会議 概要

■日時：令和2年2月18日（火）午後7時～午後8時40分

■場所：赤羽会館3階第2集会室

■参加団体：赤羽管内連合自治会、赤十字奉仕団赤羽分団、赤羽商店街連合会、地域リサイクラー、清掃協力会、民生委員・児童委員、赤羽高齢者あんしんセンター、シニアクラブ、青少年委員会、赤羽小学校、赤羽岩淵中学校、青少年赤羽地区委員会、赤羽消防団、赤羽健康支援センター

■会議概要

今回はテーマを「地域の外国人」とし、区関係部署（総務課）からゲストスピーカーを招き、区の現状や施策を説明いただきつつ、参加者同士の意見交換、情報交換を行った。

【開会】

赤羽管内連合自治会 若旅会長あいさつ

地域のきずなづくり担当 小野副参事あいさつ

1. 地域円卓会議について

事務局から、本日の進め方等について説明した。また、連合自治会長を座長とさせていただく旨説明した。

2. テーマ「地域の外国人」について

(1) 総務課ゲストスピーカーから説明

総務部雲出参事（総務課長事務取扱）から、外国人人口の推移、国籍別外国人人口、地区別外国人人口といったデータの説明（北区には100か国を超える外国人が住んでおり、約6割が20～30代、留学が多い）をはじめ、多文化共生・国際化社会へ向けての取組み、「やさしい日本語」、多言語生活情報アプリや外国人向けイベント等の紹介があった。

(2) 意見交換

主な意見は、下記のとおり。

- ・外国から来たばかりの子がいきなり小学校に入ると、学校の先生の対応が大変。他自治体では一定期間別校舎で文化やマナー教育等を実施している。（→

区では小学校3校中学校2校に適応指導教室がある)

- 多岐の問題がある。理解し合うためには時間がかかる。一部でも相手側の言語ができるの良い。経営者など、長くいる方は協力してくれる。
- 不動産店で、地区のごみ出しの規則等教育のようなことがあると良い。
- 1歳を迎える幼児に配るバースデーカードに外国人名が増えてきた。
- あんしんセンターでは現状大きなトラブルはないが、介護保険制度など日本語の細かいニュアンスが伝わらないことがある。(→区の窓口にはは外国人高齢者の来訪がある。テレビ電話なども活用しているが、中国語のわかる職員を派遣して対応することもある)
- 成人式には一目で外国人とわかる方はそれほど見かけなかった。今後周知されていくと良い。(→区長あいさつを多言語化して配布した)
- 小学校では今のところ特に問題は無い。保護者会に来る親は日本語のわかる方で、わからない方はそもそも来ないのかもしれない。
- 外国人は北区ニュースより友人やSNSから情報収集している。
- 元気ぷらざでは、外国人客が来ると「どちらの国から」と問いかけ、内線で職員同士共有している。「やさしい日本語」や、単語でも通じる。
- 日本国籍を持つバングラデシュ人(日本に長く暮らしている)が消防団で活躍している。参集時に英語での呼びかけもしている。とっさの呼びかけ時、英語以外の外国語が使える方もいるとよい。留学生に期待している。(→今年度の区政功労者に外国人の方もいる)
- 母子事業で外国人と関わることが多い。個別対応で、通常より多くの時間をとり、丁寧に関わっている。

3. その他 情報交換等

(1) 次回の地域円卓会議について(日程、テーマ)

- 次回は8月下旬の予定。
- テーマについては「多世代交流」「助け合い」の意見があった。

【閉会】

赤羽管内連合自治会
若旅会長あいさつ

